

所長だより第66号 令和2年 9月17日

# 希望の船

We love BIWAKO

「みずうみに学んで世界の明日をひらく人」

滋賀県立びわ湖フローティングスクール  
〒520-0047 大津市浜大津5丁目1番7号

<https://uminoko.jp/>

## 航海が始まりました

【所長 東 文三】



令和2年9月1日（火）、今年度の児童学習航海が始まりました。1回目の航海には、愛荘町立愛知川東小学校と甲良町立甲良東小学校の児童126名が乗船し、令和2年度の児童学習航海の船出となりました。

出港に先立って、今年は感染症対策のため、船内ではなく彦根港を会場にして、時間を短縮して「出航式」を行いました。「うみのこ」に乗った子どもたちは、30年以上も前から、琵琶湖を守ることや物を大切に使うこと、友だちと協力することなどを学んできました。みなさんもしっかりと受け

継ぎ、感謝の気持ちをもって学んでください。」と滋賀県教育委員会の福永教育長からのメッセージが届き、児童の皆さんは、目を輝かせていました。「昨日は眠れなかったけど、船で友達と一緒に勉強できて楽しい。びわ湖の勉強を頑張りたい。」と児童が楽しみにしていたフローティングスクールを実施できることをうれしく思います。

学習船「うみのこ」が10時に彦根港を出航する時は、甲板で出航の様子を見学していた児童たちに、港から多くの方がスカarfを振り、見送って下さいました。その後、船内見学や白石、竹生島、多景島の展望、びわ湖の水の透視度調査やびわ湖のプランクトン・魚・水草・湖底の観察などびわ湖学習をしました。顕微鏡で見つけたプランクトンをタブレットPCの湖の子図鑑で調べたり、水槽にいる魚を観察しながらスケッチしたりして、びわ湖について学びました。昼食は、人気の「湖の子」カレーを食べ、午後1時30分頃には、彦根港に無事着船し航海を終えました。

感染症対策としては、空調室の吸気口拡大や開閉式窓への交換、甲板等入口扉の網戸設置などの工事により換気能力を強化すること、乗船前や食事前の手指消毒、活動備品や船内の消毒、密接、密集を避けるため、びわ湖学習と食事の交代制や展望時のソーシャルディスタンスをとること、移動時の順番等活動を工夫することを乗船校と協力して取り組みます。

さて、航海がなかった6月から8月は、乗船中行うびわ湖学習が縮小されるのを補うために、希望する学校にフローティングスクール所員が赴き、出前授業を行いました。のべ50校から希望があり、138回の授業を行いました。内訳は、びわ湖の深呼吸実験36回、水のごれ回復実験30回、生き物ワークショップ21回、湖底の観察18回、プランクトンの観察8回、びわ湖の漁業と食文化8回、カッター活動6回、びわ湖の水の透視度調査5回、ヨシの活用（ヨシペンなど）5回、溶存酸素測定実験1回でした。子どもたちの学びの一助となれば幸いです。

フローティングスクール開校から38年目となる今年度は、初めて日帰り航海となりましたが、児童学習航海103航海（昨年度の延期航海1航海を含む）の他に、航海当日乗船できなかった子どもたちを対象とした「湖の子」体験航海も実施します。全ての航海が安全で充実した航海になるように誠心誠意努めてまいります。

